

講義名	障害者福祉入門		
科目区分	教養一般		
担当教員	藤本 次郎		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	41044

主題と概要

障害のある人もない人も共に生きる社会を実現するためには、障害そのものの理解と、障害者福祉の理念の理解が不可欠である。また、わが国の障害者を取り巻く社会情勢や生活実態を知ることと、わが国の障害者福祉制度の概要を知ることによって、障害者福祉の課題が自分自身の生活と密接に関係していることに気づくことが大切である。本講義では、障害の概念、障害者福祉の理念を学び、障害者の生活実態や障害者を取り巻く社会情勢と、わが国の障害者福祉の概要を、具体例を通して知ることによって、障害者福祉が自分たちの身近な福祉問題であることを理解することを目指す。

到達目標

- ・ 障害の概念と障害者福祉の理念を理解し、説明することができる。
- ・ 障害者の生活実態と障害者を取り巻く社会情勢を理解し、説明することができる。
- ・ 障害者のための福祉制度とサービスの概要を知り、利用できるようになる。
- ・ 障害者福祉の問題を自身に関係する問題であることが理解できる。
- ・ 福祉共生社会の一員としての役割を理解し、その役割を実践できるようになる。

提出課題

- ・ 講義ごとにコメントシートの提出を求める。

評価の基準

- ・ 講義ごとのコメントシートで30%、期末試験で70%の配分とする。

履修にあたっての注意・助言他

- ・ 障害者福祉の現状についての理解を深めるため、ニュース番組の視聴や新聞の購読を推奨する。
 - ・ 体験的理解を深めるためには、障害児・者を対象としたボランティア活動に参加されることを推奨する。
- 社会福祉士国家試験受験資格の基礎科目の取得を目指す学生は、2年後期で履修する「障害者福祉論」(社会福祉士国家試験受験資格基礎科目)の前提科目として履修すること。

教科書

・使用しない。・

プリント資料及び参考文献

- [プリント資料]
 ・ 講義ごとに配布する。
- [参考文献]
 ・ 講義中に適宜紹介する。

授業計画

- 障害者福祉の意義と障害の理解
- 障害者の法的定義と障害種別ごとの理解
- 障害者福祉の基本理念
- 障害者の現状
- 障害者福祉のための法制度
- 障害者総合支援法
- 障害児・者の保健・医療
- 障害児の教育
- 障害者の就労と雇用
- 障害者の所得保障と経済負担の軽減
- 障害者の生活環境の改善
- 障害者の権利擁護
- 障害者の文化芸術活動・スポーツ・レクリエーション
- 障害者運動・当事者運動
- 障害者福祉にかかわる専門職

予習・復習

予習：日頃から新聞の購読、テレビ等のニュース・報道番組等を視聴することを心がけ、わが国の障害者福祉の現状についての基礎知識を身につけておくこと。可能であれば、障害児・者施設等の見学や障害児・者対象のボランティア活動に参加し、障害児・者支援の現状を知るとともに障害児・者との交流を経験しておくこと。

復習：授業中、トピックス毎に、重要なポイントやキーワードを指摘するので、配布した資料を基に知識を整理し、理解

備考